社說

會計の獨立か事業の拂下か

運輸交通の不始末は前々號の紙上にも記したる通りにして其改良擴張は目下の急務なれども若しも今日の仕組にて到底果敢々々しき進歩を期す可らずとならば或は郵信省の會計を獨立せしむるか又は其事業の一半を民間に拂下げて可なり本來政府が自から事業を營むは民業に望む可らざる利益の便利を速せんが爲めにして必ずしも歳入を增すの目的に非ず左れば營業の損得如何を問はず必要の資本は幾々も支出す可き筈なるに然るに政府が郵信事業の收益甚だ豐にして其改良は無用の急なるにも拘はらず財政困難を名として往々郵信費を惜むは我輩の解せざる所なり若しも一旦國庫に收めたる錢は容易に出す可らずとならば郵信省の會計を獨立せしめ其收益を以て直に改良の資に供す可きのみ今郵便電信電話の收支を見るに左の如し

二十九年度

收入		支出	
郵便	六、七七二、六四四圓	郵便	一、七三二、九九〇圓
電信	三、一四八、二九八	電信	一、八六六、一六七
電話	一、三〇、四四四	電話	三三、四一三
合計	一〇、四〇六、〇六九	合計	三、六三四、五六九

右の如く郵便電信電話の收入は少なからぬ高にして線路の新設も亦多し奥羽線北陸線の如きは未だ全通せざれば始く別ぶして單に東海道幷に信越線の收支を見るに左の如し

二十九年度

營業費	收入	收益
東海道線	三、〇七七、一六〇圓	七、二二二、二四一圓
信越線	五〇四、二三一	八〇〇、九七六
合計	三、五八一、三九一	八、〇一三、三八九

即ち線路の收益は六百六萬餘圓にして若しも之を以て年々改良擴張するに於ては運輸交通業は著しく進歩するみならず可し或は是れにても尚ほ不足を感ずるみとあらんか此收入の內より追々元利を償還するみとして發展を妨ぐるも可なり何れにしても其會計を獨立せしむれば始直者は果して資本さへあれば遺憾なく其事業を經營するみとを得るや若や郵信省の事業は純分手廣くして且つ種類を異するものなれば急々開々專常の役人風を以てしては到底滯足なる成績を期す可らず例へば年々勅記の郵便は凡そ五億通にして之が爲めに直接間接に關係する人員は四萬有餘なりと云ふ此一事のみにても實に一國の仕事なるに此外に尚ほ電信電話等り又無數ありて之を管理するには夫れ〳〵相應の役員なかるべからず況して其仕事は年々歲々著しく膨脹するの常にして例へば明治二十年頃には僅に一億四千萬通やらるなりし郵便が二十九年度には五億に達し電信は二十二年頃は一萬一百四三四千萬通なりしに昨年々々は見せしも掲はらず今は八百萬通以上に及ぶしと云ふ以て今後の發達を想像する能はざる可し

[illegible]

此ペンタリコン山は[illegible]州にあれば羅典には程近く大理石の出づる處にして古代の建築等は多く此山[illegible]パロス山の大理石を用ひたり畢竟大理石の產するみと此の如く多からざりせば古代の希臘は決して[illegible]

古代希臘の劇場

[illegible]

[illegible]

[illegible]